

B -19 歴史と文化

鎌倉の「遊び」と「鍛錬」

市民講座

文学

歴史と文化

趣味と実用

創作と生活

実務検定対策

ふれあいと育み

健康とスポーツ

宗教と生きがい

語学

パソコン

講師

カワノ
河野 眞知郎 (本学文学部教授)
イトウ
伊藤 正義 (本学文学部教授)
シモムロ
下室 覚道 (本学文学部准教授)
フクダ
福田 誠 (本学文学部文化財学科実習助手)

講義 〈土〉10:30～12:00

フィールドワーク 〈日〉10:00～16:00

受講定員 30人

受講料 15,000円

■テキスト：プリントを配付します。

スケジュール

①	9月25日 土	頼朝の遊覧 (伊藤)
②	9月26日 日	フィールドワークI 鎌倉から三浦へ (伊藤)
③	10月 2日 土	鎌倉の禅 (下室)
④	10月 3日 日	フィールドワークII 禅宗寺院と庭園 (福田)
⑤	10月16日 土	蹴鞠と染板、犬追物と犬 (河野)
⑥	10月23日 土	出土した遊び道具 (福田)
⑦	10月24日 日	フィールドワークIII 谷戸・道・浜 (福田)
⑧	11月 6日 土	白拍子・遊女・好色の家 (河野)

※第2・4・7回目のフィールドワークは、現地集合・現地解散となります。各回とも高低差のある山道を歩きますので、歩きやすい靴、服装(雨天の場合は雨具)をご用意ください。また、昼食は各自でご用意ください。詳しくは、講座の中でご説明します。

※受講料には、拝観料・保険料が含まれます。なお、交通費は含まれません。

講座内容

中世都市「鎌倉」は、東国の武士たちが打ち樹てた「武士の都」でした。そこは鎌倉時代に首都であっただけでなく、その後、江戸時代にも古都として尊重されていました。現在、世界遺産登録を目指しています。今も町の地下には往時の遺構・遺物が埋もれています。書き記された歴史と、掘り出された物から、古都の実際を描き出し、さらに現地で実感する、オムニバス形式の講座です。

〈鶴見大学文学部文化財学科〉

文化財学は、歴史学・考古学・美術工芸学・分析保存科学など、幅広い分野にまたがるものです。本学文化財学科は、それらの文化財について「実物・実地・実体験主義」で総合的に学び、日本の伝統を受け継ぎ将来に伝えていくことを目指す学科です。

〈鎌倉市世界遺産登録に向けて〉

鎌倉の歴史的遺産は平成4年に世界遺産の暫定リストに掲載され、以後、鎌倉市では、学術調査や「鎌倉市歴史遺産検討委員会」による検討などを行い、世界遺産登録に向けた基本的考え方が平成16年5月「武家の古都・鎌倉」としてまとめられました。平成18年7月には「鎌倉世界遺産登録推進協議会」が設立されるなど、市をあげた世界遺産登録推進事業が進められています。

市民講座

文学

歴史と文化

趣味と実用

創作と生活

実務検定対策

ふれあいと育み

健康とスポーツ

宗教と生きがい

語学

パソコン